

第五十九回
帝國議會
貴族院

特別會計ニ於ケル營繕費ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第四號

昭和六年三月十日(火曜日)午前十時三十分
九分開會

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ只今

カラ委員會ヲ開會イタシマス

○眞野文二君 幸ニ大藏大臣ガ御見エニナ

リマシタカラ、營繕費ニ關シマスル法律案

ノコトニ付キマシテ、一言承リタイト思ヒ

マス、過日來段々小川政府委員其他ノ方カ

ラモ御辯明ガアリマシタケレドモ、ドウモ

能ク了解シ兼ネル點ガアリマスノデ、伺ッテ

見タイ、此營繕ヲ御統一ニナルト云フコト

ハ成程便宜ノ點モゴザイマセウシ、又經濟

上宜イ點モアルト云フコトハ私ニモ能ク了

解出來ルノデアリマス、併シ統一ト仰セラ

レマシテモ、必ズシモドノ建築物モ同ジニ

スルト云フ譯デハナイノデアラウト思ヒマ

ス、例ヘバ小學校ニ致シマシテモ都市ノ中

央ニ建テラレル所ノ小學校ト、田舎ノ山間

僻地ニ建テラレル小學校ト同ジデアルト云

フ譯ノモノデハナカラウト思フ、變ッテ居ル

ノガ當然デアアル、又一例ヲ取ッテ見マスナ

ラ、奈良ノヤウナ所ニ建テラレル所ノ建物

ハ其外觀ニ副フヤウナ建築物デナケレバナ

ラナイ、是ハ經費ヲ増額シテ建テルト云フ

譯デハアリマセヌケレドモ、同ジ費用デモ
其地方ノ狀況ニ適スルヤウナ建築ヲシナケ

レバナラヌ、奈良ノ師範學校ノ如キモ外國

人ナドカラ往々批評ヲ承ル所デアリマス

ガ、折角アア云フ奈良ノヤウナ所ニ今日ノ

建築物ヲ置クト云フコトハ非常ニ美觀ヲ害

スルト云フヤウナコトモ批評ガアルノデア

リマス、是ハマア其人ノ……外國人ノ説ト

致シマシタ所デ鬼ニ角其地方々々デ、例ヘ

バ風ノ強イ所ハ風ニ堪ヘルヤウナ建物デナ

ケレバナラヌ、又雨ノ多イ所デアルトカ、

或ハ北海道ノ如キ寒イ所デアルトカ、又ハ

臺灣ノ如キ暑イ所デアルトカ、ソレニ依ッテ

建築物モ變ルノデアリマスカラ、無論同ジ

學校ト申シテモ所ニ依ッテ變ラナケレバナ

ラナイ、況ヤ此特別ノ學校ニ於キマシテ

ハ……特殊ノ專門學校ニ於キマシテハ各、

異ナラナケレバナラナイ、又異ナルベキデ

アラウト思フ、ソレヲ統一ト仰セラレテモ、

成程統一出來ル所ノモノモゴザイマセウケ

レドモ、却ッテ不統一ニナルノガ當然デハナ

カラウカ、段々此前高橋委員カラモ御尋ニ

ナリマシタ、七ツノ利益ノ點ニ付テ一々御

質問ガアリマシテ、ソレニ付テモ例ヘバ土

地ノ選擇ト云フヤウナコトニナリマシテ

モ、私ナドノ考ヘマスニハ矢張り農學校デ

アレバ其地味ヲ研究シナケレバナラヌ、如

何ナル所デモ宜イト云フ譯ニハ行クマイト

思フ、即チ果樹ニ適シテ居ル所ノ地所デモ

米作ニハイカヌ、或ハ田ハ宜シクテモ畑ト

シテハイケナイ、デ農學校ノ研究ヲスルニ

ハ研究地トシテ、實習地トシテハ斯カル土

地デナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、

ドウシテモ専門家ガ選バナケレバナラヌデ

アラウト思フ、又其他文部省ノ方カラ言ヒ

マシテモ、此風紀問題デアルトカ、衛生問

題デアルトカ、土地ノ選擇ト云フコトハ大

イニムツカシイコトデアッテ、唯此所ガ經濟

ダト云フヤウナコトデハ行クマイト思フノ

デアリマス、段々數ヘ來レバ澤山ゴザイマ

スガ、此前ニモ私ガ申上ゲマシタカラ再ビ

申上ゲマセヌケレドモ、殊ニ大學ノ如キニ

ナリマスト云フト、私ガ申上ゲルマデモナ

イノデアリマセウケレドモ、是ハ大イニ考

ヘナケレバナラヌモノダト思ヒマス、專門

學校デモ今申上ゲタヤウナ譯デアリマスケ

レドモ、大學ニナリマスト云フト、大學ニ

ク最良ノ建物ヲ建テタイト云フコトデアリ

マスカラ、今迄ノトハズツト變々モノヲ成

ルベク建テタイ、無論經費ノ點モ考ヘナケ

レバナラヌノデアリマスカラ、高イモノヲ

選ブト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、一

例ヲ申シテ見マスト病院ナドデモ、一口ニ

病院ト言ヒマスケレドモ色々ノ案ガアリマ

ス、例ヘバ今出來テ居リマス東京大學ヤ京

都大學ノヤウニ各病室ヲ内科ハ内科、外科

ハ外科、耳鼻咽喉科ハ耳鼻咽喉科ト云フヤ

ウニ別々ニ建テルノガ宜イト云フ説ト、又

ソレハ却ッテ不便デアルカラシテ、中央カラ

放射スルヤウナ風ニ真中ニ幹部ヲ置イテ、

ソレカラ何レニモ通ズルヤウニ、中央ヨリ

「レヂエート」シテ、ズツト建物ヲ作ルガ便

利デアルト云フヤウナ説モアルノデアリマ

シテ、大體ノ配置カラ言ヒマシテモ論ガア

ル位デアリマス、又一ツツツノ校舎ニ付キ

マシテモ、病院ニ付キマシテモ、其内容ニ

於キマシテモ、常ニ教授ガ考ヲシテ居ルヤ

ウニ一番良ク病院ヲ作リタイ、壁ニ隅ガア

ルト埃ガ掛ル、又ハ空氣ノ流通暖房ノ裝置

ト云フヤウナコトニ付テモ始終考ヘテ居

ル、現ニ此暖房ノ如キハ、私ガ昨年海外ノ

第四部第七類 特別會計ニ於ケル營繕費ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第四號

昭和六年三月十日

ヲ見マス、全ク新シイ方法ガ行ハレテ居ル、是ハマダ日本ニハ行ハレテ居ラヌノデス、私ハ先ヅ行ヘハ大學デヤツテ見タラ宜イト思フ、長イコトハ申シマセヌケレドモ、今迄ハ「コーベクシヨシ」ト言フテ、空氣ガ暖房ニ觸レテ暖マル、其空氣ノ熱ヲ取ルコトニ依テ我ミガ暖マル、ソレヲ今度ハ「レヂエーション」ヲ主トシタモノデ、壁ノ中ナゾニ裝置シテ少シモ外ニ出サナイ、ソレ故ニ病院ナドニハ最モ宜シイ、或ハ天井ナゾニ裝置シテモ宜シイ、工場ナドニモ頗ル適シテ居ルヤウニ思フ、斯ウ云フ新シイモノヲ設置スルト云フコトニナルト、殊ニ大學ノヤウナ使フ人モ其コトヲ能ク了解シタ人が使フテ見ナケレバイカスト思フ、サウ云フコトヲ考ヘマス、ドウモ大學ノ建築ノ如キハ、管財局ガ御統一ニナルノハ却テ不便デハナイカ、經濟ノ上ニ於キマシテモ、或ハ新シイ方法ノ方ガ經濟デアルト云フヤウナコトナドモアリハ致シマスマイカ、デ是迄政府委員ノ御説明ヲ伺ヒマス、専門學校ヤ大學ノヤウナモノハ、マダ能ク文部省ト大藏トノ間ニ御協議ガ纏マツテ居ラナイ、是ハマダ留保サレテ居ル問題デアルト云フ御意味ニ御説明ヲ伺フテ居ラタノデアリマシガ、是ガハッキリ致シマセヌト、此案ノ贊否

ニモ困ル、贊否ヲ表スル上ニ困ルト思フノデアリマス、幸ヒ大藏大臣ガ御見エニナツテ居ラレマスノデ、御決定ニナツテ居リマセヌデシタ所デ、御考ヲ……ドノ點迄、凡ソ斯ウ云フ風ニシタイト云フ御考ノ御話ヲ伺フコトガ出來レバ、是等ノ點ニ付キマシテ、只今述ベマシタヤウナコトニ付キマシテ、ソレハオ前ノコトハ間違テ居ラタ、斯ウ云フ御話ナラバ間違テ居ル點ヲ伺ヒタイ、又是等ノ違フ特殊ノモノハ、特別ニ其時其時デ考ヘルト云フヤウナコトヲ承知イタシテ居リマス、ソレカラ除外例モ御設ケニナツテ居ル、即チ統一シテハ却テイケンタイト云フヤウナモノハ除外サレルト云フコトモ、私ノ考デハ大學ノ如キハドウシテモ除外サルベキモノデヤナイカト思ヒマス、マダ是ハ御協議ガ纏マツテ居ラヌト云フコトデゴザイマスカラ、ハッキリ伺フコトガ出來マセヌデモ、幾分カ大臣ノ御考ヲ伺フコトガ出來レバ大變仕合せト思ヒマスノデ、此事ヲ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(井上準之助君) 御答ヘ致シマス、只今仰シヤラレタ事柄ハ全部頭ノ中ニ入レテ考ヘタコトデアリマシテ、例ヘバ奈良ニ於ケル四圍ノ環境カラシテ彼處ニ家ヲ建テル場合ニハ美術的ノ家ヲ建テナケレバ

ナラヌトカ、斯ウ云フコトハ當然ノ理デアリマシテ、只今彼處ヘ何等ノ建築ヲシテ居リマセヌガ、若シ左様ナコトガアリマシタナラバ、ソレニ適當ナ人間ヲ營繕局ニ採用シテ其人ニヤラセル、假ニ病院ヲ建設イタシマス場合ハ、是モ當然所謂大學ノ病院デアリマスレバ、大體云ヘバ醫科大學デ内容ノ意見ガ出テ、ソレヲ特殊ノ技師ニ採用サシテ、サウシテ建築ニ掛ル、斯ウ云フコトニナリマスノデ、今眞野委員カラ言ハレルコトハ一々我ミモ考ヘテ居ルコトデアリマス、唯此處ヘ一ツ的確ニ實例ヲ擧ゲテ、是ガ統一スルガ宜イカ悪イカト云フ問題ノ御議論ニナリマスカラソレヲ申上ゲマスガ、例ヘバ只今大學ノ營繕統一ハ協議ガ途中デ、未ダ纏マラスニ時期ガ切迫イタシマシテ、其問題ハ其儘ニシテアリマス、ソコデ大學ノ問題ハ將來ドウナリマスカハッキリ致シマセヌガ、營繕統一ヲスル方ノ考カラ申シマス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、只今文部省ニ技術部ト云フモノガアリマシテ、多數ノ人間ヲ使フテ技術部ト云フモノガアリマス、技師ガアリマス、ソシテ大學ニハ又大學ノ、帝國大學特有ノ技師ガアリマシテ、是ハ工科大学ノ教授デアツテ、ソレガ専門ニ引受ケテ居ル、ソシテ大學總長

ガ支拂命令官ト云フヤウナ工合ニナツテ、殆ド大學ハ所謂何ト申シマスカ治外法權ノヤウナ風ニナツテ居ル、ソコデ我ミガ之ヲ統一シヤウト云フコトハ文部省ノ技術部ト云フモノヲ廢メチマツテ宜イデヤナイカ、即チ大學其モノノ、今ノアノモノヲ所謂大藏省ノ營繕部ニ統一スレバ、サウスレバ大藏省ニ、技術部ニ居ル技術員モ營繕部ニ方ニ持越シテ來ル、ソシテ此事務員モ或程度ハ持越シテ來ラバソコニ相當ノ節約ガ出來ルデヤナイカ、大學ソノモノハ今日ノ儘文部省トノ關係ヲ、唯大藏省トノ關係ト變ヘルダケデ行クカラ、ソレデ何等差支ナイデヤナイカ、斯ウ云フ我ミハ立論デ居リマス、又大學ノ方モ色々從來ノ行掛リ上、人ノ關係モアリマセウケレドモ、其理窟ナラバ今眞野委員ノ言ハルルヤウナ道理カラ推サレテモ、大學カラ申シマシタナラバ對大藏省カ對文部省ト云フ關係ガデアリマシテ、ソレナラバ建築ヲ致シマス時ハ大學デ立案ヲシテ、文部大藏兩當局デ議ガ纏マツテ、初メテ著手スルコトニナルノデゴザイマスカラ、今日ノ儘ト少シモ私ハ大學等ニハ差支ナイト斯ウ考ヘテ居リマス、是ハ行ク途デアリマス、ソレナラバ弊害ノ方デ行キマシテ統一セヌケレバナラヌト云フ方ノ

側カラ行キマスト、例ヘバ文部省ニモ遞信省ニモ陸軍省ニモ少クトモ外務省ニモ技術部ト云フモノガアリマシテ、ソシテモウ各省ニ皆技術部ト云フモノガアッテ相當ナ人ヲヤッテ、ソシテ仕事ハ足リマセヌカラ色ミナコトヲヤッテ皆ガヤッテ居リマサガ、之ヲ見マストドウシテモ各省ニ居ル人間ヲ統一シテ一ツノ所ヲ持ッテ來レバ非常ニ宜シイト云フコトガ一ツ考ヘラレマス、モウ一ツ行キマスト或一定ノ豫算ヲ今日ノ如ク經濟界ガ段々物價ガ下ガッテモ、各省ニ豫算ヲ一廻ヤリマスト、其金ハドシナ事ヲシタ、テ返リマセヌ、返リナクテソレナラバドウナルカト云フト部屋ガ大キクナル、部屋ガ立派ニナル、椅子ト桌子ガ立派ニナル、アナタ方ガ大藏省ノ拵ヘタ建築ト、同ジ省デ拵ヘタ建築ト御覽下サルト直グ分リマス、遞信省ノ簡易生命保險ト、今度郵便ノ麻布ニ出來マシタモノト御覽下サイマスト、モウ著シク分リマス、今日ノ如ク三年、七年建築界其他一般物價ガズト下ガッテ居ルト云フノニ、決シテ豫算ハ返サズ各省皆贅澤ナモノヲ拵ヘルト云フコトニナリマサガ、營繕統一ヲシテ一ツノ目デ見マスト、各省デ使フ器具家具ト云フヤウナモノ、ソレカラ部屋ノ中ノ飾リカラシテ程度ガ同ジニナリマセ

ヌト云フト、ソコニ非常ナ不合理ナ點ガゴザイマスカラ、サウ考ヘテ居リマス、ソナ意味カラ營繕統一ヲ致シマスコトガ最も必要ト考ヘテ居リマサガ、今眞野委員ノ言ハレルヤウニ大學ガ非常ニ困難ダケレドモ打明ケテ御話スルト自分デ大學ニ二度モ行ッテ、大學ノ方ミト談判シマシタ、ソシテマアソコ迄行キマシタケレドモ纏マリマセヌデシタガ、私ハドウモ其行クベキ途デ、今ノヤウナ何モ大學ソノモノニハ關係サセマセヌ、唯、文部省ニアルノト大藏省ニアルノヲ一緒ニ纏メレバ、其間ニ少クトモ三割乃至四割ノ節約ガ出來ル、サウ云フヤウナコトデ是ハマア思ヒ立ッタノデゴザイマサガ、ドウゾサウ御承知ヲ願ッテ置キマス

○眞野文二君 只今大藏大臣カラ詳シイ御説明ヲ伺ヒマシテ有難ウゴザイマシタガ、今少シク伺ッテ置キタイノデゴザイマサガ、大學ニハ今ノ御話デアリマスト今迄通りニ矢張り直營デヤルト云フコトモ御許シニナル、大學デヤラセルト云フヤウナ御考ガアルヤウニ承リマシタケレドモ、成程大藏省ト大學、文部省ト大學ト云フ關係ダケデ、同ジヤウナコトダト云フ御話デスケレドモ、ソコニドウモ私ノ考デハ大藏省ニ御持チニナルト、管財局ニ行キマスト、大學大藏省

文部省ト三ツニナル、一所殖エルコトニナル、却ッテ不便ニナリハシナイカ、大學ノ希望ノ建物ヲ造ルノニ色ミ手數ガ掛ル、時ガ掛ル、或ハ其意味ガ大藏省管財局ニ達シナイ、通ジナイト云フヤウナコトガ起リハシナイカ、ドウシテモ其點ハ大學對文部省ノ方ガ仕事ガ樂デアル、打明ケテ御話ガ便利ダラウト思フ、却ッテ今度ハ不便ニナリハシナイカト思フ、ソレカラ經濟ノ點ハ能ク分リマセヌケレドモ、東京大學ハ直營ガ非常ニ安ク出來タト云フノデ、是ハ大藏當局モ御了解ニナッテ、大學ヲ建テルニハ、矢張り議事堂ノ如キ「モニユメント、ビルディング」デハアリマセヌケレドモ、大學ハ矢張り大學トシテノ建物ヲ造リタイ、又今ノ大學外ノ「ビルディング」等ノ關係モアリマシ、是ハ其唯建物ガ出來レバ宜イト云フ問題デハナイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ私ハ申上ゲタイト思ヒマスノハ、設備……設備ハドウシテモ大學ノ其當事者ガヤラナケレバイカヌト思フ、並ノ机ト云フコトニ付テハ論ハアリマセヌケレドモ、此前モ申上ゲマシタヤウニ、並ノ机ノヤウデモ下カラチヤント動カナイヤウナ、又音響ヲ少シモ感ジナイヤウナ机ノ要ルノモアリマシ、其上デ實驗ヲスル爲ニ木デハイケナ

イ、藥ガコボレテ木ガ其爲ニ損ジラレナイヤウナ机デナケレバイケナイトカ、色ミ机ト言ッテモ、其用途ニ依ッテ大分違フノデアリマス、ソレドドウモ設備ノ點ハ、此前モ政府委員ニチヨット伺ッタノデアリマスケレドモ、先ツ大體設備ノ點ハ其當局ノ人、當局ト私ガ言フノハ専門學校ナラ専門學校ノ人ニ委スト云フノデゴザイマス、總テ建築ト云フモノハ、矢張り關係ガ餘程密接シテ居ルコトハ申スマデモアリマセヌケレドモ、折角建築ガ出來テモ、中ノ設備ガソレニ丁度合フヤウナ……入ルコトガ出來ナイトカ、或ハ附ケニクイトカ色ミナ點ガアラウト思ヒマス、ドウモ設備ヲスル者ト建物ヲスル者トガ同ジデアル方ガ却ッテ或ハ經濟デアアルノデハナイカト思ハレル、便利ナコトハ申スマデモナイコトト思フノデアリマス、設備ノ點ニ付テハドシナ御考デアリマスカ、其點ヲ伺ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) 設備ノ點ハ御尤デアリマス、併ナガラ此便利、都合ノ宜イト云フコトガ一番濫ニ流レマシテ、ソコノ所ニ非常ナ其今日ノヤウナ經濟界ノ時代ニ、經費ヲ一ツ節約シテ行カウト云フ者ノ立場カラ言ヒマスト、今眞野委員ノ言ハレルヤウナコトガ便利デアリマス、併シ便利

ト云フコトハ皆諸官省デハ濫ニ流レテ居ル
ト云フコトハ、是ハハッキリ證據ガ學ルノ
デス、ソレカラモウ一ツ眞野……今度ハ委
員デナクテ、博士ト云フ意味デ私ハ一ツ御
願ヒシテ置キタイ、決シテ私ハ文部省關係
ト申ス譯デハアリマセヌガ、要スルニ私ガ
實際ノ衝ニ當テ、直接私ハ接觸シテ見マス
ト、歸スル所ハ各省ニ技師ガ居テ、サウシ
テ勝手ニヤリ居ルコトハ非常ニ心持ガ宜イ
ガ、大藏省ニ行テ大勢ノ技師ノ中へ入ッ
テ、俺ノ上ニ人ガアルト云フコトガ、技術
部ノ人カラ言フト非常ニ感情的ニ嫌ナコト
ハ、ソレハ當然デアラウト思ヒマス、ソコ
ノ所ハ非常ニ同情ヲ表スルノデ、自分ガコ
コノ省ニ居テ、斯ウヤッテ居レバ大變都合
ガ宜イ、勝手ガ出來ルカラ宜イガ、一所ニ
行ッテ俺ノ上ニ人ガアッテ、色ミナ相談ヲシ
テ纏メルノハ嫌ダ、斯ウ云フコトガ當然ソ
コノ所ニ感情的ニ來ルノデス、ソレハ同情
シテ見ルノデアリマサガ、併シソコノ所ヲ
今度ノヤウナ場合ニ、一ツ改善ヲシテ行ク
ト云フノニハ、サウ云フ所ヲ思ヒ切ッテ一
遍ヤラヌト、ドウシテモ其節約ガ整ヒマセ
ヌ、人ノ節約ハ……ソレデアリマスカラ、
マア一應出來ルナラ營繕統一ヲシテ、サウ
シテ一ツヤッテ見ヤウ、善惡ヲ擧ゲテ見マシ

タラ是非曲直ハ何レニモゴザイマス、ゴザ
イマスケレドモ今マデノヤウナヤリ方ガ良
クナイト云フコトハ可ナリ分ッテ居リマス
カラ、一ツ良クシヤウ、其代リ營繕統一ヲ
シテ、大藏省ノ建築其モノニ中ニ非難ガア
ル、非常ニ非難ガアル、ソコデ營繕統一ヲ
シヤウト云フコトヲ思ヒ立ッタ時ニ、大藏省
ノ從來ノヤリ方ハ俺ハ嫌ダト云フ人ガ過半
數デアリマス、其點ハ大藏大臣ハ一ツ大ニ
改善ヲスルト云フ約束ヲシテ、今度は方通
リマシタナラバ一ツ根本カラ責任上改善シ
ナケレバナリマセヌ、ソレハ過去ノコトダ
ノヲ擧ゲテ營繕ハ惡イト言ハレルノハ甚ダ
困ルカラ、一ツ將來ノコトニシテ貰ヒタイ
ト言ウテ居ルヤウナ次第デアリマス
○眞野文二君 今ノ設備ノ點ヲ伺ヒタイ
○國務大臣(井上準之助君) 設備ノ點ハモ
ウ御説ノ通りデゴザイマス、殊ニ大學ノ如
キハ今日デモ當然サウ云フコトガアリマ
ス、殊ニ専門學校デハ斯ウ云フ主張ヲシテ
居リマス、自分ノ所ニ建築課ガアル、ソコ
デ建築課ノ關係ノ者ヲ使ヒタイ、又建築課
ハ自分達ノ是マデ經驗シタ知識ヲ使ヒタ
イ、斯ウ云フコトヲマア頻リニ言フノデゴ
ザイマスガ、其點ニ付テハ大藏省ノ營繕部ハ
決シテ自分ガ勝手ニヤラウト云フコトハ主

張セヌノダカラ、其位ノ協定ハ何時デモシ
ヤウト、斯ウ言ッテ居リマス、學校ニ於ケル
設備等ハモウ十分向フノ言フコトヲ尊重シ
テ、サウシテコッチガソレニツイテ行ッテ設
備ヲシテ少シモ差支ナイ積リデ居リマス
○眞野文二君 諄イヤウデアリマスケレド
モ、アノ無音響室ナドデ、チットモ外ノ響
キガ達シナイヤウナ實驗室ナドハ、是ナド
ハ最モムツカシイ建物デアリマシテ、サウ
云フモノハ教授ガ傍ニツイテ居テ監督シ
ナケレバイカヌト云マヤウナ點ガアリマ
ス、是ハマア九州帝國大學デ初メテ出來タ
ノヂヤナイカト思フ、サウ云フヤウナ建物
ニナリマス、ドウシテモ大學デ直營デヤ
ラナケレバイカヌト思フ、直營ト云フコト
モ御考ノ中ニ入レテ戴キタイ、是ハ必シモ
建築技師ヲ大學デ置カナケレバナラヌト云
フ譯デハナイ、東京大學ナドデハ教授ガ其
建築ノ監督ノ任ニ當テテ考案ナリ設計ナリ
總テヲヤッテ居リマス、ソレデ大變ニ良イモ
ノガ出來テ、又安イモノガ出來タト云フコ
トニナッテ居リマス、經濟ニ確カニナッタ、
段々御話ハ承ハリマシテ結構ダト思ヒマス
ガ、御統一ニナリマシテモ後ニ矢張り技師
ガ殘ルヤウデハ技師ガ却ッテ殖エルヤウニ
ナリハシナイカト思フ、文部省ニモ技師ガ

アリ、管財局ノ方ニモ技師ガ殖エル、ソレ
カラ病院ノ建築ノ爲ニモ人ヲ置カナケレバ
ナラヌ、又斯ウ云フ専門ノ方ニハ専門ノ技
師ヲ入レナケレバナラヌ、サウスルト管財
局ノ方ニモ技師ガ殖エル、ソレカラ前ノ方
ノフスツカリ御統一ニナリマシテモ、除外例
ト云フモノガナケレバ是非非常ニ結構ダト
思ヒマスガ、統一ト云フコトハ私ハ大變結
構ダト思ヒマスガ、サウスルニハ除外例ヲ
全クナクスルト云フコトヲ私ハ希望スルノ
デアリマスガ、除外例ガアル以上ハ、矢張
リ兩方ニ……、一方ニハ學校ヲ建築スルモ
ノガ文部省ノ方ニモアリ、管財局ノ方ニモ
亦ソレガ居ラナケレバナラヌト云フ……、
詰リ今マデヨリモ多クナルト云フヤウナコ
トデ、却ッテ不經濟ニナリハシナイカ、纏マ
レバ經濟ニナルコトハ今大臣ガ仰セニナル
通りデアリマスガ、其點ヲ私ハ餘程疑フ、
現ニ除外例ヲ段々置イテ御出デニナル、海
陸軍ノ祕密ニ關スルコトデアルトカ、其他ノ
特別ノモノニ付テハ總テ除外例ヲ置イテ居
ラレル所ヲ見ルト、御統一ニナル建物ト云
フモノハ或ハ餘リ多クナイノヂヤナイノデ
アラウカ、文部省ノ建物ニモ餘ナイノヂ
ヤナイカト思フ、ソレデハ御統一ノ趣旨ガ
通ルマイト思フ、從ッテ經濟トカ、或ハ便宜

トカ云フ點ガ段々薄クナリハシナイカ、ソ
レヲ私ハ寧ロ心配スルノデアリマス、ソウ
云フ點カラ此除外例ノ例ヲ見マス、矢張
リ大學ノ方ハ除外セラレタ方ガ當然デヤナ
イカト考ヘマシタカラ伺ヒマシタ、大臣ノ
今仰セラレルヤウニ總テガ行ハレバ私ハ
結構ダト思ヒマス、併シ大學ノ建築トカ設
備トカ云フヤウナモノハ、今申シマシタヤ
ウニドウカ大學ノ希望ヲ御容レ下ステ、ソ
レガ出來ルヤウニ願ヒタイト思ヒマス、サ
ウデアリマセスト、折角教授連ガ心配サレ
テ、色々新シイコトヲ見テ來テ之ヲ實行シ
タイ、又ハ將來ノ爲ニ斯ウ云フ便利ナ建物
ヲ作りタイト思ヒテモ、ソレガ出來ナイト云
フコトニナルト甚ダ遺憾ニ思フノデアリマ
ス

○國務大臣(井上準之助君)

私ハ眞野博士
トシテ、先輩トシテ御願ヒ申シタイ所ハ、
大學ハ今マデノ通り、從來ノ通りヤリマシ
テ、文部省ノ技術部ト云フモノヲ全部止メ
ヤウト云フノガ私ノ理想ナノデアリマス、
ソコヲ大學ノ關係ノ方ミガ彼此レ言ハレマ
スト、言ハレル理窟ハ從來ノ行掛リト感情
ニ過キマセヌ、道理ハドウシテモ私ノ言フ
通り立タヌノデスカラ、大學トカ特殊ノ建
築、殊ニ美術ニ關係ヲスル建築ノ如キハ、

毛頭仰シヤル通り決シテ我々ハ異存ハナイ
ノデアリマス、之ヲ統一シテ行カウ、各省
ニ僅カノ仕事ヲ有クテ技術者ヲ皆置クト云
フコトガイカヌノデハナイ、尙ホ此處ニ纏
メヤウト云フノデアアルノデスカラ、私ハ何
處マデモ自分ノ道理ハ宜シイ、今日ノ國家
ノ經濟ヲ縮メテ行クニハ之ヲドウシテモヤ
ラサケレバナラス、斯ウ考ヘテ居リマス、
其點ハ殊ニアナタ方ニハ非常ナ御關係ノア
ルコトデスカラ、サウ云フ意味ニ於テ御同
意ヲ願ヘレバ私ハ大變結構ナコトト思フ、
殊ニ部長ガ例ヲ出シテ居リマスガ、簡易生
命保險ハ確カ當初ノ單價ガ三百五十圓デ、
物價ガ下ガクテ此數年間ノコトモ一切見ズ
ニ結局三百五十圓デ押通シテ一厘ノ節約モ
出來テ居ラス、然ルニ大藏省ノヤッタ貯金局
ハ最初四百圓ノ單價ノ豫算ガ結局出來タ後
デハ二百八十圓デアッタ、サウ云フモノガ非
常ニ此處ニ影響シテ參リマスモノデスカ
ラ、ドウシテモ矢張り統一シタイト云フ考
ガ出テ來ザルヲ得ナイト思ヒマス、ドウゾ
一ツ……

○眞野文二君

統一ヲシタイト云フコトハ
私ハ非常ニ結構ダト思ヒテ居ル、唯大學ノコ
トヲ知ッテ居ルノデスカラ申シマシタノデ
スガ、文部省ノ方ニ付テハ何モ申上ゲルコ

トハゴザイマセヌ、唯文部省ノ方ニ、御承
知ノ通りニ専門學校ハ文部省デヤッテ居ル
モノデスカラ、サウ云フコトニナリマス
云フト、矢張り文部省デ、文部省ニ技術者
ヲ置カナケレバナナルマイト斯ウ考ヘテ居
ル、尙ホ此大學ト申シテモ新シク出來ル大
學ハ、今度ノ管財局デ御ヤリニナルト云フ
コトヲ此間政府委員ハチヨット御洩ラシニ
ナリマシタガ、私考ヘマスルノニハ、是マ
デノ經驗ニ依リマスルト云フト、是ハドウ
セ委員ト云フヤウナモノヲ御作りニナッテ、
大學ノ建築ニ御著手ニナラナケレバナルマ
イト思フ、然ラザレバ造ッテシマッタ後ヘ大
學ノ教授ガ來テ、是ハ不都合デアアル、此處
ヲ直サナケレバナラス、彼處ヲ直サナケレ
バイカスト云フノデ、直グニ新シイ建物ヲ
壞ハシテ、又修繕ヲシナケレバナラスト云
フヤウナコトガ往々アルノデス、委員制度
デアリマシテモ尙ホサウ云フコトガアル位
デアリマスカラ、實ハ其教授ガ醫科デアリ
マスレバ醫學部ノ教授、理科デアリマスレ
バ理學部ノ教授ガ設計ヲシ監督ヲスル方ガ
宜イト思ヒマス、新シイ學校デ、大學デマ
ダ其人ヲ得ナイト云フ場合ニハ委員制度デ
ヤラナケレバナナルマイ、ソナヤウナ場合
ニ管財局デヤラレルノト文部省デヤラレル

ノト大分便宜ノ點ガ違ヒハシナイカト思ヒ
マス、唯或ハ委員デ建築スル上ニ於テ關係
ガ文部省ト密接ナ關係ニナッテ居リマスカ
ラ、サウ云フ點ガ便宜デハナイカト思ヒマ
ス、併シ只今大臣ガ御話ニナッタヤウニ其點
ヲ總テ考慮下サッテ御ヤリニナルト云フト
デアレバ、統一ト云フトニ付テハ誠ニ結
構ナコトデアリマス、決シテ私ハ異議ガア
ル譯デハナイ、併シ統一ノ爲ニ却ッテ不統一
ニナッタリ、却ッテ不便ヲ來タシ不經濟ヲ來
タスト云フヤウナコトガアッテハイカスト
思ヒマシテ、質疑ヲ致シタヤウナ譯デアリ
マス

○子爵綾小路護君

賠償金ノ特別會計法ノ
法律案ニ付テ伺ッテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(侯爵西郷從德君)

宜シウゴザイ
マス

○子爵綾小路護君

本案ハ現政府ノ公債政
策ノ根本ニ觸レマシタ重要法案デアリマス
ルカラシテ大藏大臣ニ一點御尋ヲ致シタイ
ト思フノデアリマス、議會ニ於キマシテ、
本案ニ關シテ改正法律案ガ提出セラレマシ
テ、獨逸賠償金ヲ減債基金ニ繰入レルコト
ニ致サレタノデアリマス、委員會ニ於キマ
シテモ殆ド何等ノ質問モナク承認イタサレ
タノデアリマス、誠ニ民政黨ノ公債政策ノ

當然トハ申シナガラ一ツノ功績ト見テ差支
 ナイト思フノデアリマス、其後一年足ラズ
 シテ今回廢止セラレルト云フコトハ、ドウ
 モ我々如何ニ解シヤウト致シマシテモ了解
 ニ苦シムノデアリマス、必ズヤ之ニ對シテハ
 有力ナ理由ガアルモノト思フノデアリマ
 ス、ドウカ此點ハ委員一同ガ皆等シク承知
 イタシタイダラウト思フノデアリマスルカ
 ラ、政府ニ於カレマシテハ詳細ニ明確ニ其
 理由ヲ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマ
 ス

○國務大臣(井上準之助君) 誠ニ御尤モノ

御質問デアリマシテ、政府當局者ニ於キマ
 シテモ、一旦決メテサウシテ僅カ一箇年間
 實行シテ直ニ之ヲ當分ノ間ト雖モ減債基金
 ニ繰入レルコトヲ止メメケリヤナラヌト云
 フ事情ニ付キマシテハ非常ニ遺憾ニ考ヘテ
 居リマシテ、出來マスナラバ左様ナコトヲ
 シタクナイ、斯ウ申シマスコトハ、一方ニ
 於テハ公債ヲ殖ヤシタクナイ、一般會計ニ
 ハ公債ヲ募集シタクナイ、公債ヲ殖ヤサ
 ズニ減サウ、法律ノ結果カラ來ル交付公債
 ハ別トシテ自ラ進ンデ公債ヲ募集シテ、
 依テ何カ事ヲヤルコトハ避ケヤウ、斯ウ
 云フコトヲ實質的ニ決メマシテ一ツノ政
 策トシテ、發表イタシマシテ、サウシテ

唯一年實行シテ之ヲ止メルト云フコトハ
 政府當局者トシテモ非常ナ遺憾デアリマ
 ス、併ナガラ事情ハ斯ウ云フコトデアリ
 マシテ、昭和五年度ノ豫算ヲ特別議會ニ提
 案イタシマシタ、四月、五月……ソレガ二
 月三月位カラ異常ナ世界ノ狀態ガ變テ參
 リマシテ、實ハ特別議會ニ參リマシタ時モ
 議會ノ中デモ種々様々ノ御質疑モアリマシ
 タノデアリマスガ、其時ノ狀態ヲ申シマス
 ト經濟界ハ變テタガ、果シテ稅ガドレ位減リ
 マスカ、的確ニ數字モ分ラヌ、併ナガラ減
 ルニハ相違ナカラウト云フコトハ考ヘテ居
 リマシタノデスガ、御承知ノ如ク今日減ル
 カラ今日豫算ヲ立替ヘテ直ニ特別議會ニ出
 シテ行クト云フコトハ豫算技術ノ上カラモ
 出來マセヌノデ特別議會ニ臨ミマス時ニ、
 千万圓内外ノ減收ヲ見込シテ居ル、
 併ナガラ時々刻々狀態ハ變テ來マシテ、昭
 和五年度ノ豫算ニ於テモ結局八千万圓位ノ
 減收ヲ見込マナケレバナラヌヤウナ狀態ニ
 ナッタノデアリマス、ソコデ昭和六年度ノ豫
 算ヲ一ツ拵ヘマス時ニ見マス、昭和五年
 度ノ最モ經濟界ノ悪カタ時代ヲ基ニ致シ
 マシテ、サウシテ昭和六年度ノ歲入狀態ヲ
 豫測イタシマス、稅ト官業收入ト合計イ
 タシマシテ一億五千五百万圓程減リマス、

其一億五千五百万圓減ルダケナラバマダ財
 政狀態ハ左程困難モ致シマセヌノデアリマ
 スケレドモ、五億八百万圓ト云フ留保財源
 ハ海軍ノ補充計畫ヲ立テ、ソレカラ出テ來
 タ剩餘金ハ減稅ニ當テヤウ、從テ五億八百
 万圓ト云フ金ニハ手ヲツケタクナイ斯ウ申
 シマス、一億五千五百万圓減リマス金ガ
 今ノ五億八百万圓ヲ除イタ外ノ歲出ニ割當
 テテ減サヌケリヤナラナクナッタ、ドウシ
 テモソレニ付キマシテハ行政ノ運用上ニ非
 常ナ差支ヲ生ズル、經濟界……經濟界デハ
 アリマセヌ、行政組織ノ根本ニ一ツ這入テ
 之ヲ立換ヘテ見ヌケレバ是程減タ金デ從
 來ノ行政上ノ運用ニハ支障ヲ生ズル、斯ウ
 云フコトガ歴然ト現レテ參リマスモノデス
 カラ、六百三十万圓ト云フ金ヲ減債基金ニ
 振向ケテ行カウ、斯ウ決メタケレドモ、是
 ハドウモ一時之ヲ手控ヘテ置クト云フヨリ
 外ニ道ハナイ、斯ウ云フコトヲ考ヘマシタ
 ノデ、六百三十万圓ト云フモノヲ減債基金
 ニ繰込マレルコトヲ手控ヘテ、ソレヲ一般
 經費ニ流用スル、斯ウ云フコトニ致シマシ
 タノデアリマス、御尋ネデハアリマセヌガ、
 其事柄ニ關聯シテ申上ゲテ置キマスガ、ソ
 レナラバ其外……是同ジコトニナリマ
 ス、消極的ト積極的ノ二ツニナリマスガ、

ノミナラズソレヲ減債基金ニ繰入レルコト
 ヲ止メタノミナラズ、公債ヲ……豫期シテ
 ナカク公債ヲ三千五百五十万圓程殖サヌ
 ケレバナラヌ、是ニ於キマシテモ自分達ノ
 一昨年組閣當時ニ發表イタシマシタ政策カ
 ラ行キマスレバ遺憾至極ノ至リデアアルノデ
 アリマス、政治上ノ見地カラ言ヒマシタラ
 バ非常ナ重大事件デアアルノデアリマスガ、
 併シ只今申シマス如ク是程急激ニ歲入ガ減
 ル、ソレデ一般會計ニ六百三十万圓ヲ繰入
 レタヤウナ狀態デアアル以上ハ、失業救濟ノ
 爲ニ三千五百五十万圓ノ金ヲ一般會計カラ
 捻出スルト云フコトハ、到底其望ミガナカッ
 タノデアリマス、從テ已ヲ得ヌカラ、失業
 者ハ出テ來ル、ソレニ對シテ對策ヲ講ゼザ
 ルヲ得ヌ、斯ウ云フコトカラ致シマシテ三
 千五百五十万圓ノ公債ヲ募ル、斯ウ云フコ
 トヲ決メマシタノデアリマスガ、併ナガラ
 何處マデモ公債政策ニ對シテ我々ハ非募債
 主義、公債ヲ殖サナイ、減サウト云フ考ヲ
 捨テタ譯デハナイノデアリマスカラ、失業
 救濟ニ付テモ、出テ來ル失業者ハ救濟セザ
 ルヲ得マセヌ、併ナガラ計畫ヲ立テルニ付
 キマシテモ至極放緩ニ流レナイヤウニ計畫
 ヲ立テ積リデアリマス、ソレナラバ將來
 ドウスルカ、斯ウ仰シヤラレバ出來ルダ

ケ財政行政ノ根本整理ヲ致シマシテ公債ヲ
縦シ募テモ之ヲ減シテ行クヤウニ、ソレカ
ラ六百三十万圓ノ金ノ如キモ出來ルダケ早
ク減債基金ニ又戻シテ繰入ヲ戻サウ、斯ウ
云フ方針デ行クヨリ外ニアリマセヌノデ、
昭和六年度ニ稅制行政財政ノ整理ヲ一ツシ
テ見マシテ、サウシテ此急激ニ減タ歲入ニ
應ジテ行政組織ヲ建直シテ行カウ、斯ウ考
ヘテ居リマスノデアリマス、御質問ノ點ハ
至極政府トシテモ亦政治家ノ立場トシテモ、
一旦發表シ國民ニ誓ウタコトヲ止メナケレ
バナラス事情ノ出テ來マシタコトハ誠ニ遺
憾デアリマスケレドモ、斯様ニ急激ニ經濟
界ガ變化シテ來ヤウ、斯ウ云フコトハ全ク
我ニハ豫想ガ出來マセヌ、今日マデ一般
……本議會等ニ於テ我ニノヤツタ緊縮政策
金解禁ガ今日ノ日本ノ不景氣ヲ來シテ居ル
ト言ヒマスナラバ、我ニハ政治家トシテ殆
ド立場ガナイノデアリマス、併シ我ニハ自
分ノ緊縮政策、金解禁ハ如何ニ考ヘテモ是
ハヤラザルヲ得ヌカラヤツタノデアツテ、其
結果ガ多少日本ノ財界ニ影響ヲ及ボシテ居
ルト云フコトハ認メテ居リマスガ、併ナガ
ラ世界ノ今日ノ何人モ豫想ノ出來ナカッ
タ世界ノ不景氣ノ影響ガ日本ニ多ク及ンデ
居ルト云フコトハ、我ニハサウ考ヘテ居リ

マス次第デアリマシテ、從テ一昨年ノ七月
ニ此世界ノ不景氣ガ此程度ニ於テ來ヤウト
云フコトハ、我ニ不明ノ至リデアリマシタ
ガ、認メ得ルコトガ得ナカッタト云フコト
ハ、不明ノコトハ非常ニ陳謝シナケリヤナ
ラヌ次第ニナツテ居ルノデゴザイマス、御答
ヘ致シテ置キマス

○子爵綾小路護君 只今一應ノ御説明ガゴ
ザイマシタガ、私ハ未ダ十分ニ了解ヲ致シ
マセヌノデ、モウ一遍御尋ネ致シタイト思ヒ
マス、成程御説明ノ通り歲入ノ激減ト云フ
コトハ左様ナコトニ相成ルト思フノデアリ
マスルガ、唯此理由ノミニ依テ減債基金ノ
繰入ヲ一時タリトモ中止サレルト云フコト
ハ、ドウモ理由ヲ見出スコトガ出來ナイノ
デアリマス、金額ニ於キマシテモ僅カ六百
三十万圓ノ少額デアリマスルシ、寧ロ其少額
ノ金額ニ依テ填補サレテ財政ノ辻褄ヲ合
ハセルコトニ依テ救ハレル所ノ利益ヨリ
モ、主義主張、即チ現政府ノ政策ノ變革ヲ
サレルト云フコトノ方ガ、私ハ重大ナ關係
ヲ有ツテ居リハシナイカト思フノデアリマ
ス、是ハ單ニ政府ノ主義ノ改廢ト云フ重大
ナ事實ノミデナク、國民思想ニモ重大ナ影
響ヲ齎ラスコト、思フノデアリマス、此點
ニ付キマシテ大藏大臣ハ如何ニ御考ヘニナ

リマスカ、御所見ヲ御尋ネ致シテ置キマス
○國務大臣井上準之助君 私ハ只今ノ御
說ニ別ニ異存ヲ申ス次第ハ毛頭アリマセヌ
ガ、此議論ノ歸スル所ハ只今ノ此經濟界、
經濟界ノ狀態、世界ヲ通ジテノ經濟界ノ狀
態ガ一體ドレ位ノ程度ニ日本ニ重要性ガア
ルカ、斯ウ云フコトニモ私ハ餘程歸スルダ
ラウト思フテ居リマス、假リニ大シタ經濟界
ノ變動デナイ、普通ノ場合ニ我ニガ財政ヲ
……財政デアリマセヌ、歳出ヲ減スコト
ヲ避ケテ、サウシテ一番容易イ方法ノ六百
三十万圓ト云フモノヲ減債基金ニ繰入レズ
ニ一般歳入ニ持ツテ來タト云フノナラバ、モ
ウ私ハ財政ノ當局者トシテ世間ニ合ハセル
顔ハナイト自分ナガラモサウ考ヘマス、併ナ
ガラ日本ノ財政ノ上カラシテ一億五千五百
万圓ノ歳入ガ減リマシテ、サウシテ十四億
何ガシニナツタ、ソレデ只今申シマスヤウ
ナ事情ヲ考ヘテ見マス、到底此上ニ歳出
ヲ減スコトガ出來ナイノデアアル、斯ウ云フ
コトニナリマスノデアリマス、ソレデ只今
仰シヤラレルヤウニ國民ニ誓、タコトヲ容
易ク捨テテ、國民ニ對シテ何ノ顔アツテ見エ
ルカト言ハレルニ付テハ、サウ仰シヤラレ
ルノモ是ハ無理ノナイ話デアリマス、併ナ
ガラ財政ノ當局者トシテ此財政計畫ノ衝ニ

當テ考ヘテ見マス、是ハドウモ到底已ム
ヲ得ナイ、此上歳出ヲ減シテハ到底根本カ
ラ建直サヌケレバ行政計畫ヲ壞スンダ、是
ハドウモ到底今日デハ已ムヲ得ナイカラ、
一時斯ウヤツテ置クヨリ外仕方ガナイト云
フ結論ガ出テ來タ次第デアリマス、モウ純
理論デ只今ノヤウナ御非難ニ決シテ私ハ反
抗シテ強辯ヲスル勇氣モ何モゴザイマセヌ、
唯如何ニモ日本トシテ一割以上ノ歳入ガ減
リマス、サウシテ歳出ノ中ニハ十四億十五
億ノ時ノ勘定デアリマスガ、六億七千万圓、
或ハ七億位ノ義務費ガアリマス、ソレニハ
一切手ヲ著ケルコトヲ許シマセヌ、サウ考
ヘマス、殆ド半分ノ七億ト云フモノニ對シ
テ一億五千万圓ヲ減シテ行カナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フコトニナリマス、ソレハ實際
サウナカノ行カナカク事情デアアルノデ
アリマス、泣言ヲ申シテ甚ダ辯解ニハナリ
マセヌケレドモ、實際其衝ニ當、タ其私ノ感
ジカラ申シマス左様ナ次第デゴザイマス

○子爵綾小路護君 尙ホ諄イヤウデゴザイ
マスガ、我ニ委員モ政府ト同ジク矢張り朝
令幕改ノ謗ヲ、此法案ヲ無條件ニ通過イタ
スト云フコトニ對シマシテハ、同ジ謗ヲ受
ケナケレバナラヌト思ヒマス、敢テ面目ノ
問題ニ拘泥イタスノデアリマセヌガ、ド

……本議會等ニ於テ我ニノヤツタ緊縮政策
金解禁ガ今日ノ日本ノ不景氣ヲ來シテ居ル
ト言ヒマスナラバ、我ニハ政治家トシテ殆
ド立場ガナイノデアリマス、併シ我ニハ自
分ノ緊縮政策、金解禁ハ如何ニ考ヘテモ是
ハヤラザルヲ得ヌカラヤツタノデアツテ、其
結果ガ多少日本ノ財界ニ影響ヲ及ボシテ居
ルト云フコトハ認メテ居リマスガ、併ナガ
ラ世界ノ今日ノ何人モ豫想ノ出來ナカッ
タ世界ノ不景氣ノ影響ガ日本ニ多ク及ンデ
居ルト云フコトハ、我ニハサウ考ヘテ居リ

……本議會等ニ於テ我ニノヤツタ緊縮政策
金解禁ガ今日ノ日本ノ不景氣ヲ來シテ居ル
ト言ヒマスナラバ、我ニハ政治家トシテ殆
ド立場ガナイノデアリマス、併シ我ニハ自
分ノ緊縮政策、金解禁ハ如何ニ考ヘテモ是
ハヤラザルヲ得ヌカラヤツタノデアツテ、其
結果ガ多少日本ノ財界ニ影響ヲ及ボシテ居
ルト云フコトハ認メテ居リマスガ、併ナガ
ラ世界ノ今日ノ何人モ豫想ノ出來ナカッ
タ世界ノ不景氣ノ影響ガ日本ニ多ク及ンデ
居ルト云フコトハ、我ニハサウ考ヘテ居リ

……本議會等ニ於テ我ニノヤツタ緊縮政策
金解禁ガ今日ノ日本ノ不景氣ヲ來シテ居ル
ト言ヒマスナラバ、我ニハ政治家トシテ殆
ド立場ガナイノデアリマス、併シ我ニハ自
分ノ緊縮政策、金解禁ハ如何ニ考ヘテモ是
ハヤラザルヲ得ヌカラヤツタノデアツテ、其
結果ガ多少日本ノ財界ニ影響ヲ及ボシテ居
ルト云フコトハ認メテ居リマスガ、併ナガ
ラ世界ノ今日ノ何人モ豫想ノ出來ナカッ
タ世界ノ不景氣ノ影響ガ日本ニ多ク及ンデ
居ルト云フコトハ、我ニハサウ考ヘテ居リ

……本議會等ニ於テ我ニノヤツタ緊縮政策
金解禁ガ今日ノ日本ノ不景氣ヲ來シテ居ル
ト言ヒマスナラバ、我ニハ政治家トシテ殆
ド立場ガナイノデアリマス、併シ我ニハ自
分ノ緊縮政策、金解禁ハ如何ニ考ヘテモ是
ハヤラザルヲ得ヌカラヤツタノデアツテ、其
結果ガ多少日本ノ財界ニ影響ヲ及ボシテ居
ルト云フコトハ認メテ居リマスガ、併ナガ
ラ世界ノ今日ノ何人モ豫想ノ出來ナカッ
タ世界ノ不景氣ノ影響ガ日本ニ多ク及ンデ
居ルト云フコトハ、我ニハサウ考ヘテ居リ

ウモモウ少シ御尋ヲ致サナケレバナラヌ事

情ニアリマスノデ、モウ一點御尋ネ致シタ

イ、政府ハ然ラバ便宜主義ヲ執ラレルヤウ

ニ存ジマスルノデアリマスルガ、左様ナ次

第デアリマスレバ貿易關係、即チ國際貸借

ノ方面ニ於キマシテ、我國ニ於テ生産ノ現

在不可能ナモノデアリマシテ、從テ輸入

ノ額ニ於テモ相當大キイモノガ多々アルト

存ジマス、ソレ等生産事業ヲ全然不可能ナ

モノハ致シ方ゴザイマセヌガ、茲ニ何カ施

設ヲ設ケレバ興リ得ルト云フヤウナ事業ニ

對シマシテハ起債ヲセラレマシテ、サウシ

テ輸入ノ防遏ヲ圖リ、國際貸借ノ改善ヲ圖

テ、サウシテ此現在不況ヲ打開スルト云フ

ヤウナ途ヲ御講ジニナルト云フコトニ對シ

テ如何ニ御考ヘニナッテ居リマスカ、私ハ

若シサウ云フコトガ出來マスレバ輸入ノ防

遏ニ依リマシテ其起債額以上ニ有利ナ結果

ヲ齎ラシハセヌカト思フノデアリマス、又

他面ソレガ爲ニ現在失業洪水ト迄言ハレテ

居ル此現況ニ於キマシテ、知識階級ナドノ

救済ナドモ是等ノ方法ニ依ッテ相當救ハレ

ルト思フノデアリマス、是等モ政府ガ便宜

主義ヲ執ラレルト云フノナラバ斯様ナコト

ニモ御考ガ及ビハシナイカト思フノデアリ

マスガ、ソレ等ニ付キマシテ政府ノ御所見

ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) 今御指摘ノコ

トハ假リニ或特殊ノモノガアッテ、之ヲ保

護スレバ何年後ニハ是ダケノ輸入ガ防ケ

ル、斯ウ云フヤウナ類似ノモノガアリマス

ナラバ、ソレハ政府トシテハヤラナイデハ

ナリマセヌ、併ナガラ若シ御説ガ今日ノ日

本ノ財界ハ不況デアアル、ソレナラバ大イニ

金ヲ使ッテ保護獎勵ヲシタラバドウデアラ

ウカト云フ御趣旨デアリマスナラバ、今ノ

政府ハ此經濟界ノ整理ノ目的ヲ達シマスル

ノニハ、左様ナコトヲ致シマシタナラバ非

常ナ此經濟界ノ行クベキ途ニ害ガアル、斯

ウ考ヘテ居リマス、例ヘテ申シマスト今ノ

歳入狀態デアリマスカラ、今度コ、ニ一億

ナリ一億五千万ナリノ保護獎勵ヲシテ見タ

イト思ヘバ、公債ヲ募ッテソレヲ保護獎勵

ヲシナケレバナラヌ、保護獎勵ヲスルト、

ソレガドウナルカ、斯ウ言ヒマシタナラバ、

假リニ公債ヲ募ルコトハ民間デ出來ル、

サウシテソレデ保護獎勵ヲシタ、斯ウナリ

マシタラバ、ドウ云フ風ナ日本ノ今日ノ經

濟界ニ影響ヲ與ヘルカ、斯ウ云フコトニナ

リマシタナラバ一億五千ヤ二億デヤ影響ガ

アリマスマイガ、假リニモウ少シ額ヲ殖ヤ

シテ、斯ウ云フヤウナコトヲ致シタトスル

ナラバ、今日ハ恐ラクハ物價ガ下ラナクナ

ルダラウト思ヒマス、即チ今日ノ物價ガ絶

對ノ、ズット落ちて行キマス時代ニ、或ル種

ノ保護獎勵ヲシタ爲ニ金ガ使ハレル、斯ウ

云フコトニナリマシタナラバ、内地ニハ一

時的ニ景氣ガ出マセウ、景氣ノ出マシタ結

果ハ、ドウナルカト云フト、内地ノ消費ハ

殖エマセウ、外國カラ輸入ハ殖エマセウ、

明カナ事實デアリマシテ、内地ニ綿布ノ需

要ガ殖エマスレバ綿ノ輸入ガ殖エテ來マ

ス、綿ノ値段ハ決シテ、亞米利加ノ事情カ

ラ出テ來テ居リマスカラ綿ノ値段ハ上リマ

セヌガ、兎ニ角綿ノ輸入ハ殖エマス、ソレ

カラ内地ノ消費ガ殖エテ非常ニ盛シナリ

マスレバ、サウスレバ内地ノ生産費ハ高ク

ナリマス、今日世界ノ不景氣ノ爲ニ内地ノ

生産費ガ下ッテ、御承知ノ如ク綿絲ハ、二

十番手ノ綿絲ガ高イ時ニ三百六十圓モシテ

居ッタ綿絲ガ今日百四十圓位ニ廉クナッテ、

ソレデ初メテ外國ニ輸出ガ出來テ居リマス

ガ、内地デ非常ニ綿絲ノ需要ガ殖エル、綿

布ノ需要ガ殖エテ、ソレガ高クナッタラ輸出

ハ減ルヨリ外ニナカラウト思ヒマス、サウ

致シマス保護獎勵ハ内地ニ一時的ニハ景

氣ヲ出シテ來マスガ、結局國際貸借ノ狀態

カラ言ヘバ悪クナル、斯ウ云フコトヲ考ヘ

マシタラバ、ソレガ何年續キマスカ、斯ウ

云フコトヲ考ヘニ行クト、一時デハ良クナル

ガ、結局ノ所ハ又再ビ今日ノ事態ヲ生ジナ

ケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナラウト思

テ居リマス、是ハ決シテ知識ヲ誇ル譯デモ

何デモアリマセヌガ、是ト同ジ道行ヲシテ

居ルモノガ濠洲デアリマス、濠洲ガ英吉利

ノ母國ト一緒ニ金ノ解禁ヲ致シマシタ、解

禁ヲ致シマシタガ、其後濠洲ハドウ云フコ

トヲシテ居ルカト申シマスト、御承知ノ如

ク労働黨ガ政府ヲ取ッテ居ルノデアリマス、

ソコデ公債ヲ餘計募リマス、サウシテ各州

ニアリマス州有ノ鐵道ヲ儲カラナイケレド

モ失業者ヲ出スコトハイヤダ、ソレカラ濠

洲ノ内地ノ物價ヲ下ゲルコトハ絶對的ニイ

ヤダ、斯ウ云フコトデニツノ政策ヲ執ッテ

行キマシテ公債ヲ募ッテ、儲ラナイ鐵道ヲ

ズットカケテ行キマシタカラ、失業者ハ出

ズ、労働者ノ賃銀モ相當ニ高クズット維持

ガ出來マシタ、ソコデ内地デ物價ヲ高クス

ルコトハイヤダト言ヒマスケレドモ世界ノ

物價ハ段々下リマシタカラ、廉イ世界ノモ

ノガ這入ッテ來マスカラ、關稅ヲズン／＼

上ゲマシタ、日本アタリノ羽二重デモ何分

ト云ッテ關稅ヲ上ゲタ、ソコデ内地ノ物價

ヲ高クスルコトハソレデ目的ヲ達シマシタ

ノデス、然ルニ段々最近ニナルト、ドウナツ
タカト云フト、世界ガ不景氣ニナリマシタ
モノデスカラ、此事情ハ濠洲デ維持ガ出來
マシタケレドモ、濠洲デ一番大キナ輸出品
ノ羊毛ガ非常ニ値段ガ下ガッテ外國ガ買ハ
ナクナリマシタ、買ハナクナッタカラ、値段
ガ下ガッタカラ、濠洲ノ羊毛ノ輸出ハウント
金額ニ於テ減リマシタ、ソコデ問題ハ何ガ
生ジテ來タカト云フト、國際貸借ノ「バラ
ンス」ガ合ヒマセヌカラ、英吉利アタリニ
公債ノ借換ガ出來ヌ、利拂モシカネタ、斯
ウ云フコトニナッテ非常ナ紛雜ヲ起シテ、外
國ニ在ル濠洲ノ公債ガ下ガル、國際貸借ガ
維持ガ出來ズニ、實際今日ハ濠洲ノ爲替相
場ガウント下ガリマシタ、ウント下ガリマ
シタカラ非常ナ悲觀ヲサレテ居ルノデアリ
マス、ソコデ濠洲ノ内輪ハドウ云フコトヲ
シテ居ルカト云フト、労働黨ガ政府ヲ取
テ居リマスカラ、公債ノ期限ガ來テモ借換
ヘセヌ、是ハ資本金ガ皆公債ヲ持ッテ居ル
カラシテ、借換ヘセヌカラ皆元ノ儘デ持ッテ
居ルト云フヤウナ亂暴ナ説ヲ唱ヘル人ガア
リマスガ、彼處ノ聯邦政府ノ總理大臣ノ「ス
カーリン」ト云フ男ハ、サウ云フコトハイ
カヌ、國ノ信用ヲ害スルカラ左様ナコトハ
イカヌト、今頻リニ鬪ッテ居ル所デアリマ

スガ、斯ウ云フ例ガ日本ニ其儘ソクリ當
嵌マルモノデモゴザイマスマイガ、世界ガ
是程不景氣ノ場合、保護獎勵策ヲ採テ一
時ヲ糊塗スルト云フコトガ國家百年ノ計デ
アルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、我
我ハ寧ロサウヂヤナイ、所謂今日ノ經濟組
織デハ、世界ト共ニ動クト云フ政策ヲ採ラ
ヌケレバナラス、ソレニハ金ノ解禁ヲシテ
置イテ、サウシテ物價ガ世界ノ水準ト一緒
ニ上ガリ下ガリヲシテ行クヤウニセヌケレ
バ、世界ガ不景氣デモ日本ダケガ都合宜ク
行クト云フコトハ、私ハ一時ハ出來得ヤウ
ガ、將來ニハ非常ナ禍根ヲ貽スト斯ウ考ヘ
テ居リマス、是ハ絕對ノ議論デアリマスカ
ラ、程度論ニナリマシタラ、先刻御話ノ如
ク何カ茲ニ保護獎勵スレバ將來日本ノ大イ
ニ重要物産ニナルモノガアルカラ、ソレニ
付テハ保護獎勵ヲシテモ宜イデヤナイカ、
斯ウ云フ御議論ニナリマシタラ、公債ヲ發
行シテヤラストモ、財政ノ整理デモシテ相
當ノ捻出ヲシテ、其途ハ當然採ラヌケレバ
ナラヌノデゴザイマス、併シ大イニ茲ニ不
景氣ヲ緩和サセテ見ヤウト云フ保護獎勵策
ニ對シマシテハ、我ニハ今日然ルベキ時期
デナイト斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○子爵綾小路護君 色々御説明ガゴザイマ
シタガ、私ハ再ビ根本ニ戻リマスルガ、然
ラバ減債基金ノ繰入ヲ中止セラレルト云フ
ノハ、將來下ノ位ノ期間ヲ中止セラレルト
云フヤウニ御見込ニナッテ居リマスルカ、
其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 甚ダ的確的ノ
御答ヲ申ス程度迄參ッテ居リマセヌガ、昭和
六年ニ一ツ根本的ノ整理ヲヤッテ見マシテ、
ソレニ依ッテ直ニ元ニ返スコトガ出來レバ
非常ナ仕合セト考ヘマス、併ナガラ其時迄
ニ尙ホ今日ノ經濟界ガ落チ著イテ、サウシ
テ將來ニ於テ歳入ガ多少殖エルト云フヤウ
ナ事態ガ果シテ來ルカ否ヤ、來ナイトスル
ナラバ昭和六年度ニ於テノ根本整理ニ依ッ
テ直ニ六百三十萬圓ヲ元ニ返スコトガ果シ
テ可能性ガアルカ否ヤ、斯ウ云フコトニ付
テハ私モ的確的ニ今日マダ考ヲ申上ゲル迄
ノ確信ヲ持ッテ居リマセヌ、併シ只今申上ゲ
ル如ク當分ニ整理基金ニ繰入レルコトヲ
止メテ置クト云フ以上ハ、之ニ付テハ大イ
ニ努力ヲ致サナケレバナラヌノハ當然ノ議
デゴザイマス

○男爵長基連君 私ハ少シ遅ク參リマシタ
ノデ、是ハ御尋ニナッタコトカモ分リマセヌ
ガ、一應御尋ニシテ置キタイト思ヒマス、
現政府ノ公債政策ニ付テ一應ノ御考ヲ承
テ置キタイト思フノデアリマス、現政府ハ
公債ハ成ルベク發行シナイ、萬已ムヲ得ザ
ル場合ノ外ハ發行シナイト云フ御方針デア
ルト云フコトハ承テ居リマスルガ、然ラバ
其發行シナイト云フ理由、ドウ云フ譯デ發
行シナイカ、言換ヘレバ現在ノ日本ノ公債
ガ多過ギルカラ發行シナイト云フノカ、又
他ノ理由ニ依ッテ、或ハ今日ノ金融界デハ發
行スルノハ不適當ダト云フ理由デアルカ、
或ハ又若モ今日ノ公債ガ我國ノ財政状態ニ
比較シテ多過ギルト云フ理由デ以テ御發行
ニナラナイノデアルナラバ、其詳シイ譯ヲ
一應承ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) 只今ノ御尋ハ
第一公債ヲ發行シナイト云フ理窟ハ、一般
會計ト云フ會計上ノ性質カラ申シテ、非常
特別ノ場合ニハ公債ヲ以テ是ガ財源ニ充當
スルト云フコトハ已ムヲ得マセヌガ、普通
ノ場合ニハ借金ヲシテ其國ノ財政ヲ立テテ
行クト云フコトハ間違ッテ居ル、斯ウ我ニ
ハ考ヘルノデゴザイマス、從テ一般會計即
チ普通ノ國ノ財政上ニ常ニ公債ヲ計上シテ

居ルト云フコトハ嘘ダ、ソコデ一般會計ノ上ニハ公債ヲナクシテシマハウ、サウ云フコトガ我ミノ考デアリマス、併シ是ハ戰時或ハ斯様ナ經濟界ノ急激ニ變更シタ時ハ別トシテモ、普通ノ場合ニハ公債ヲ計上セヌコトガ本當デア、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ公債ガ多過ギルカ市場デ公債ガ發行ガ出來ヌカト云フ問題デアリマスガ、公債ガ六十億ニ只今垂ントシテ居リマスガ、是ガ日本ノ富力ニ相當シテ多過ギルカ少ナ過ギルカト云フ議論ハ到底數字上ノ結論ハ私ハ出テ來ヌト思フ、併ナガラ過去ノ經歷ヲ御覽ニナリマス、日本ノ公債ノ増加シタ割合ヲ一ツ御覽ニナリマス、恐ロシイ程日本ノ公債ト云フモノガ増加イタシテ居リマス、今マデノ調子デズト日本ノ公債ガ増加シテ行ッタラバ、ソレハ非常ナ重大事件ヲ起スト、斯ウ考ヘタノデアリマス、正シク今度ノヤウニ日本ノ歳入ガ一億五千万圓モ減リマシテ、今度ハ日本ノ財政ヲ見マスルト、公債ノ利拂ト云フ動カスコトノ出來ナイ數字ガ此處ニ出テ參リマシテ、歳入ハ減ルケレドモ、公債ノ利拂ハ減額スルコトガ出來ナイ、義務費ノ中ニ入ッテ、之ニ手ヲ附ケルコトガ出來ナイト云フ此處ニ數字ガ出テ來マス、正シク公

債ガ今マデノヤウナ速力デ殖エマシタナラバ、日本ノ財政ト云フモノハ伸縮ニ應ジテ之ヲ堅固ニシテ行クト云フコトハ非常ニ不可能ナ問題ニナラウト思ヒマス、是マデハ斯様ナ急激ニ歳入ノ減タコトハ經驗イタシマセヌガ、今度ノ經驗ニ依リマス、正シクサウ云フヤウナ經驗モシテ居リマス、ソコニアリマス爲ニ今マデノヤウニ殖ヤシチヤイカヌト云フコトハ是ハ確ニ申上ゲテ差支ナカラウト思ヒマス、公債ノ募集ガ出來ルカ出來ヌカト云フ問題ハ斯ウ御考ヘ下サレバ宜イ、我々ハ今マデサウ考ヘテズト來タノデアリマスガ、一億ナリ二億ノ公債ヲ新規ニ募集スルコトハ餘リ困難ハアリマセヌ、併ナガラ日本ノ市場デハ、最近ハ十五年位ノ長期ガ出來マスガ、是マデ日露戰爭後ノコトヲ御覽ニナリマス、短イモノハ五年、長クテモ七年位ノ公債ヲ始終發行シテ居リマス、從テ毎年新シク募集スル公債ハ二億カソコラデア、併ナガラ借換ノ公債ガ多イ時ニハ五億、私ガ日本銀行當局者トシテ經驗シタ所ニ依リマス、六億位ノ借換公債ヲシナケレバナラヌ時ガアリマス、ソレヲ新規發行ノ分ト合セマシテ、日本ノ市場ニ當嵌メテ見マス、非常ナ困難ヲシタコトガ多イノデアリマス、殊

ニ財界ガ急激ニ變更イタシマス、甚シイ時ニナルト五分ノ公債ノ利廻リガ六分ニモナラナケレバ借換ガ出來ヌヤウナ事態ヲ度經驗イタシテ居リマス、サウ云フコトヲ經驗イタシマス、公債ヲ此上今マデノヤウナ調子デ殖ヤシテ行クト云フコトハ宜クナイ、斯ウ云フコトヲ我々ハ考ヘタ譯デアリマス、況ヤ金ノ解禁後、致シマスニ付キマシテハ、一般會計ニ於テ公債ヲ借入レナイ、即チ經濟界ガズツ縮テ來タナラバ、政府ノ財政モ、少クトモ借入金ニ依ッテ歳出ヲ計テ居ル項目ハ之ヲ緊縮シナケレバイカヌ、斯ウ云フ考カラ出發シテ來マシタノデアリマス

モノトノ間ニ多少ノ差ガアッテ、昭和六年度デハ殖エマス、ソレハ事實デゴザイマス、ソコデ將來ドウナルカト斯ウ申シマス、法律ニ依ル交付公債、自カラ造ル法律ノ交付公債ハ別ト致シマシテ、從來法律ニ依ッテ渡サナケレバナラヌ交付公債ト云フモノガ勘定シテ見マス、或場合ニハ可ナリ計上サレマス、ソレハ我々ハ自分ノ政策トシテモ除イテ居ッタノデズガ、ドツチニシテモ公債ノ殖エルコトハ同ジコトデアリマス、併ナガラ今後ト雖、我々ハ公債ヲ殖サヌ、減サウト云フ政策ヲ棄テタノデハナイノデアリマシテ、唯、今日ノ經濟界ノヤウナ特殊ノ場合デ失業者ガ出テ來ルト、千七百五十万圓ノ公債モ止ムヲ得ナイカラ、此場合特別ノ處置トシテ公債ヲ募ッタ、併シソレニシテモ出來ルダケ切詰メタ案ニシテ、失業者ヲ救済シ得レバソレデ事ガ足リルト斯ウ考ヘマシテ、成ルベク計畫ヲ放漫ニ流レヌヤウニシタ積リデアリマス、今後ドウスルカト云ヘバ、成ルダケ、公債ヲ餘計發行セズンテ、六百三十万圓ノ賠償金モ出來ルダケ速ク減債金ニ返サウ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居リマス、從ッテ今後ドウナリマセウカ、昭和六年度以後ニ起ル事件ハチヨット今豫想ハ付キマセヌガ、兎ニ角昭和六年度デモ返シマス

○男爵長基連君 今マデノヤウナ公債ノ増加ノ仕方デハ宜クナイト云フ御考カラ公債ニ對スル政策ヲ立テラレテ居ルト云フコトデアリマスガ、サウシマスルト、今後ハ公債ガ矢張り殖エルト思ヒマスガ、色ミナ交付公債トカ或ハ借換ノ場合トカ、サウ云フ機會毎ニ公債ガ矢張り漸次殖エルト思ヒマスガ、サウ云フ傾向ニ對シテハ之ヲ阻止スルト云フ御考ヘハナイノデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 昭和六年度ニ於キマシテマダハキリ計算ヲ致シマセヌガ、減債基金トシテ返スモノト、借りマス

金ガ七千万圓デ、サウシテ借リル金ガ確カ九千万圓ダツト思ヒマス、ソレダケデモ二千万圓其處ニ確ニ増加イタシマス

○男爵長基連君 サウシマス、公債ヲ段

段減ラサウ、前ニ政友會内閣ノ時ニ三士大藏大臣ガ確カ何カ案ヲ御立ニナツタヤウニ思ヒマスガ、公債ハ將來段ニ減ラサウト云フコトニ付テドウ云フ風ニシタラ宜イカ、或ハ不生産時ノ公債ヲ出サヌヤウニスルト云フヤウナコトニ付テ案ヲ御立テニナツト思ヒマスガ、現大藏大臣ハ何カサウ云フ案デモ御造リニナツテ、將來公債ハ段ニ減ラサウト云フヤウナ御考ハ御持チニナラナイノデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 只今的確的ニ

今後ドウシヤウト、斯ウ云フ成案ハ持チマセヌ、併ナガラ公債ヲ一ツ減ラサウ、殖スコトヲ止メヤウ、斯ウ言フテズト今日マデ來タノニ今度ノ場合ニ、斯様ナ特別ナ場合ニ處スル處置ヲシテ、只今申ス如ク、二千万圓ノ公債ガ殖エルト云フコトデアリマス、今後ト雖モ、併シ私ハ公債ヲ縱シ特別ノ場合ニ、此昭和六年度ニ二千万圓殖エマシテモ、將來ニ於テハ左程殖ヤサズニ是非トモ財政ノ状態ヲサウ云フ風ニ立テテ行キタイ積リデアリマス、只今ノ御質問ヂヤアリマ

セヌデアリマシタケレドモ、申上ゲマスガ、是マデ前内閣デハ生産公債ナラバ幾ラ出シテモ宜イヂヤナイカ、不生産公債ハイカヌガ生産公債ナラバ宜イヂヤナイカト云フ説ヲ度ニ聞キマシテ、今日ノ經濟界ニ應ジテモ生産公債ナラバサツト發行スル意思ヲ持ツテチットモ差支ナイイカト言ハレマスガ、又サウ云フ御議論モアリマセウト

思ヒマスガ、政府ノ事業トシテ私ハ一ツ例ヲ申シマスガ、鐵道ノ公債ノ如キ三十億ノ金ヲ使ツテ居リマス、大體申シマス、十五億ノ公債ヲ背負ツテ居リマス、サウシテ今日デハ減債基金利拂モ自カラノ經濟デシテ居リマスガ、楮テソレナラバ三十億使ツテ居ルアノ事業ガ幾ラニ今日廻ルカト云フコトヲ、今日ノヤウナ經濟界ノ急激ニ變テ時代ニ三十億ノ政府事業ニ對シテ、アノ生産事業ト云ハレテ居タモノガ幾ラニ廻ルカト云フコトヲ調べテ見マシタラ、今日ノ利廻リハウント減テ居リマス、若シ此儘デ日本ノ鐵道ヲ將來マデ公債ニ依ツテウント建設シテ居リマシタナラバ、他日ハ一般會計ノ非常ニ患ヒニナルヤウナ今日ハ經濟界ノ状態デアリマス、過去ニ於テハ相當ナ利廻リガ出テ居リマシタガ、經濟界ガ今日ノヤウニ變ジマシタラ、ソコニハ餘程考ヲ用キテ置カ

ナケレバナラヌダラウト思ヒマス、ドウシテモ其生産公債ト不生産公債ト云フ區別ヲ立テテ、生産公債ナラドレダケデモ宜シイト言ツテ居リマス、利拂ト云フモノガウント殖エテ來マス、即チ義務費、今日ノ日本ノ財界ノ半分ハ義務費デアリマス、非常ニソコニ經濟界ノ伸ビ縮ミニ應ズル處置トシテ非常ニ困リマス場合ガ出テ參リマスデゴザイマス

○男爵長基連君 大分御趣旨ハ分リマシタ

ガ、私ノ考デハドウモ利拂ノ利子ノ方面カラ見テモ、現在ノ公債ガ少シ此日本ノ財政上カラ考ヘテ多過ギルヤウニ思フ、ソコデ實ハ先程カラ御尋ネシタノデ、大藏大臣ハ成ルベク殖サナイ、或ハ又此程度デ止メテ置カウト云フ位ノ御考デアルヤウニ伺ハレルノデスガ、ソレヲ一止進デモウ少シ公債ヲ少ナクシヤウ、三億ト云フ多キナ額ノ利拂ヲスルノハ非常ニ工合ガ悪イ、何トカ段ニ公債ヲ少ナクスルヤウナ方法ヲ考ヘテ行クト云フヤウナ御考ガアルヤウニ伺ヒマスシ、又差當テソレニ對スル具體案ハナイト云フ御話デアリマシタガ、具體案ハ差當テ御アリデナクトモ、將來ハ段ニ減サウト思ツテ居ルト云フ實ハ考カト思ツテ伺ツタノデアリマスガ、ソコノ所ハハッキリサウ云フ

考デアルト云フコトデモナイヤウデアリマスガ、唯殖サナイデ置カウト云フ位ノ所ノ御考デアリマスガ、ソコヲモウ少シハッキリ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) 公債ヲ今後殖

サズニ行カウト云フダケノ決心ヲ立テテ、ソレヲ實行シカカテ、昨年實行イタシマシテ、今年ノ昭和六年度ニ於キマシテハ只今御指摘サレタヤウニ二千万圓殖エルコトニナリマスノデ、ソコデ出來ナイコトヲ考ヘテモ役ニ立タヌノデアリマスガ、私ハ一昨年ノ七月ニアノ意見ヲ發表スル時ニモ、非常ナムヅカシイコトダ、公債ヲ殖サズニ置カウト云フコトダケガ、實行ガ出來マスレバ非常ナコトニナリマスノハ、昭和五年度デ言ヒマスト萬分ノ百十六ノ減債基金ト、ソレカラ剩餘金ノ四分ノ一ト、ソレカラ獨逸ノ賠償金ノ六百三十萬圓其他ヲ加ハマスト可ナリ公債ハ減リマス、減リマスノデス、其方針ヲ何處マデモ守ツテサヘ行ケバ公債ノ市價モ安定スル、又ソレデ日本ノ財政計畫ノ基礎ガ出來ル、斯ウ考ヘテ居ツテ、實ハ昨年一年實行シテ來テ、今年此特別ノ場合ニ遭遇シテ減シタノデナイ、二千万圓殖エナケレバナラヌト云フコトニ付テハ如何ニモ残念ナコトデアリマスガ、如何トモスル

コトが出来ナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、從テ只今斯様ニシテ將來公債ヲ此上減ラサウト、斯ウ云フ案ヲ具體的ニ持ッテ居リマセヌ、併ナガラ從來ノ殖ヤサスト云フ方針行ッテ財政状態ガ過去ノ如クアリマスナラバ、毎年相當ニ減ッテ参リマス、ソレダケデモ市場カラ申シタラバ、日本ノ公債ノ價值ハ可ナリ安定スルダラウ、上リモシマスマイガ安定スルダラウト斯ウ考ヘテ居リマシタ、世界各國ノ公債ガ五分デアレバソレダケ發行ガ出來ルノガ普通デアリマセウガ、日本ハ何時デモ何分カ或ハ多イ時ハ一割位ノ値引キヲサレル、國家ノ損失ハ非常ニ大ナルモノデアリマス、其處ダケノ目的ヲ達シテ五分ノ公債ガ百圓ノ額面ダ募集ガ出來ル點マデモ参リマスレバ、國家ノ利スル所ハ非常ニ大キイモノデアリマスカラ、サウ云フ點マデハ是非共理想トシテ漕ギ付ケテ見タイト思ッテ居リマス、昭和六年度ノ状態ハ甚ダ残念千萬デアリマシタ

○男爵長基連君 此賠償金特別會計法ノ廢止ノ法律案ニ付テテチヨット伺ッテ置キマスガ

昨年ノ特別議會ノ時ハ賠償金特別會計法ノ改正法律案ヲ御出シニナリマシタ、其時ノ改正法律案デハ、賠償金ヲ減債基金ノ方ニ廻スト云フコトデアリマシタガ、其時ニ

私ガ現政府ノ此方針ハ大變結構デアルガ、其方針ガ必ズ將來守レルカドウカ、此政府ノ續ク限りハ或ハ御守リニナルカモ知レナイガ、政府ガ變ルナラバ、又之ヲ普通ノ一般ノ財源ニ御使ヒニナルト云フコトニナリハシナイカ、ソレガ爲ニハ將來政府ガ變ッテモソレヲ矢張り減債ノ方ヘ使フト云フ法律ニ御變ヘニナッタラドウカト、斯ウ云フ御尋フシタノデアリマス、其時ニ政府ハ現在其財政ノ計畫上、今直ニ減債基金ノミニ使フト云フコトハ出來難イ、併ナガラ此現政府ハ勿論、政府ガ變ッテモ、是ハ其方針デ御ヤリニナルノデアラウト云フ御話デアリマシタ、所ガ今度一般會計ノ方ヘ御入レニナルト云フコトハ、甚ダ私ハ残念ニ思ヒマスガ併シ現在ノ財政上、是ハ已ムヲ得ヌト云フ御話デアリマスシ、先程ノ大藏大臣ノ御話

ニナリマシタ通り、當分ダケヤルト云フ御話デアリマス、デアリマスガ私ハ當分ヤルト云フ御考モ、別ニ當分ガ永久ニナルカドウカト云フコトハ疑ヘバ疑ニナリマスケレドモ、ソレハ先ヅ御考ノコトガ疑ガナイコトトシマシテ、ドウモ此特別會計ヲ全部御廢止ニナッテ、一般會計ニ入レルト云フコトニナリマス、是ハモウ大藏大臣一人ノ御考デ何レニモ其流用ガ出來ル譯デアリマス

カラ、私ハ特別會計ヲ依然トシテ御殘シニナッテ、サウシテ賠償金特別會計ト云フモノハ、賠償金ハ必ズ減債基金ニ用ヒルト云フ風ナ仕組ガ出來ナイモノデアリマスカ、其邊ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(井上準之助君)

御説ハサウスルト今般ノ特別會計ヲ止メマスコトト、六百三十萬圓ヲ減債基金カラ一般會計ニ繰入レマスコトトハ、直接ノ關係デハゴザイマセヌガ矢張り特別會計ヲ殘シテ置イテ、ソシテソレヲ必ズ減債基金ニ繰入レル、其點ハサウサレマセヌデモ豫算ニ計上シテイツデモ歲入トシテ減債基金ニ繰入レルカ、或ハ之ヲ一般ノ歲入ニ繰入レルカト云フコトハ、毎年議會ノ協贊ヲ經ルコトニナリマス、ソレデ只今ノヤウニセズトモ同ジ目的ヲ達セラレルト考ヘテ居リマス

○男爵長基連君

今ノ御話デハ毎年議會ノ協贊ヲ經ルカラシテ同ジデアラウト云フ御話デアリマスケレドモ、其時ノ政府ガ之ヲ減債基金ニ入レナイデ置カウト云フ考ヲ有チマスレバ、矢張り入レナイデ外ノモノニ使ッテシマフト云フコトニナリマス、減債基金トシテノ例ノ公債ノ萬分ノ百十六デスカ、斯ウ云フ風ニ規定ガアレバ、ソコニ持ッテ行クコトガ出來ルト思ヒマスケレドモ、

單ニ一般會計ニ入レテソレカラソレダケノ金額ヲ減債ニ當テルト云フコトデハ、ドウモ政府ヲ拘束スルコトハナカクムヅカシイコトデヤナイカト思ヒマス、或ハ別ニ賠償金特別會計ノ金額ハ必ズ減債基金ニ入レルト云フヤウナ法律デモ御作リナレバ多少拘束サレル點ガ強クナリハシナイカト思ヒマス、單ニ政府ダケノ御考ヨリシテ減債基金ニ入レルト云フダケデハ、如何ニモ其縛ラレル所ガ弱イヤウナ感ジガスルノデス、如何デゴザイマス

○國務大臣(井上準之助君)

將來ノコトヲ拘束イタシマス爲ニハ特別會計タルコトヲ要シマスガ、法律トスルガ宜イカセヌガ宜イカト云フコトハ確カニ議論ノアル所デアラウト思ヒマス、私等ハ昨年ノ七月ニハ左様ナコトハ致シマセヌデシタガ、今度之ヲ減債基金ニ繰入レマス場合ニハ必ズスルトハ考フベキコトト思ッテ居リマス、丁度萬分ノ百十六ヲ減債基金トシテ立テタ、アレト同ジヤウニ之ヲ取扱ヒマスカ否ヤハ確カニ考フベキコトト思ッテ居リマス、只今ハ一般ノ會計ニ致シテ参リマスカラ、左様ナコトデナクテ濟ンダノデアリマスケレドモ、確カニ御説ノヤウナコトハ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス

○男爵長基連君 今度一般會計ノ賠償金ニ

ナツタ、當分サウスルト云フ御話デアリマシ

タガ、財政計畫ニハドウナッテ居リマス、十

年計畫ノ財政計畫ニハ……

○國務大臣(井上準之助君) 財政計畫ニハ

十年計畫ニ全部這入ッテ居リマス

○男爵長基連君 這入ッテ居リマスカ

○國務大臣(井上準之助君) 將來迄這入ッ

テ居リマス、サウ云フ戻ス場合アレバ將

來迄ズツト抜キマス

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデ如何デ

アリマセウカ、御質問ガナケレバ時間モア

レシマシタカラ、休憩シマシテ午後開キマ

セウカ

○子爵綾小路護君 ソレデヤ條約局長ガ御

見エニナリマシタカラ、極ク簡單ナコトデ

アリマスケレドモ一應念ノ爲ニチヨット御

伺ヒ致シタイト思ヒマス、先程來大藏大臣

ニ御尋ヲ申上げマシテ色々御説明ヲ煩ハシ

マシタガ、ドウモ私ハマダ十分ニ了承ガ出

來マセヌノデ、此法案ニ關シマシテ何か外

交上ノ關係ガアルノデヤナイカト思ヒマス

ガ、一應外務省ノ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

ト思ヒマス、此獨逸賠償金ノ費途ト云フコ

トニ付キマシテ、何か國際的ニ考慮ガアル

ノデヤナイカト思ヒマスガ、チヨット其點ヲ

承リタイト思ヒマス

○説明員(松田道一君) 委員長ノ許可ヲ受

ケマシテ外務省ノ説明員ト致シテ只今ノ御

質問ニ對シテ申上ゲタイト思ヒマスガ、只

今ノ御尋ハ何か對獨其他ノ賠償金、此賠償

金ノ使途ニ付テ外交上話シ合フタコトハナ

イカト云フ御尋デゴザイマシタカト思ヒマ

スガ、其點デゴザイマスト何モゴザイマセ

ヌ

○子爵綾小路護君 サウ云フ意味デハナイ

ノデアリマス、其費途ニ付キマシテ、使途

ヲ明示セラレル場合ニ國際的ニ何か都合ノ

悪イコトガナイカト云フコトデアリマス、

例ヘバ費途ニ依ッテハ其賠償金ノ將來ニ對

シマシテ影響ガアルト云フヤウナ心配ハナ

イカト云フコトデアリマス

○説明員(松田道一君) 只今ノ御質問ノ趣

旨デゴザイマスト、其使途ニ付テ賠償金ノ

性質上別ニ是ト云フ趣旨ヲチヨット思ヒ當

ラナイノデアリマスケレドモ、何か特別ノ

場合ニ御考ヘデモアリマスケレバ、或ハ考慮

シテ見タイト思ッテ居リマス

○子爵綾小路護君 別ニサウ云フ方面ニハ

何モ心配ハナイト云フコトデアレバ、ソレ

デ宜シイノデアリマス

○委員長(侯爵西郷從德君) 午後ハドウ致

シマセウカ、チヨット速記ヲ止メテ下サ

イ……

〔速記中止〕

○委員長(侯爵西郷從德君) 速記ヲ始メ

テ……ソレデハ明後日午前十時ニ開會イタ

スコトニ致シマシテ、本日ハ是デ散會イタ

シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ是デ

散會イタシマス

午後零時二十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵西郷 從德君

副委員長 子爵大河内輝耕君

委員 子爵綾小路 護君

眞野 文二君

男爵長 基連君

馬越 恭平君

長尾元太郎君

國務大臣 大藏大臣 井上準之助君

政府委員 大藏省主稅局長 青木 得三君

大藏省理財局長 富田勇太郎君

大藏書記官 川越 丈雄君

營繕管財局理事 太田嘉太郎君

商工書記官 長崎榮十郎君

説明員 外務省條約局長 松田 道一君

昭和六年三月十六日印刷

昭和六年三月十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局